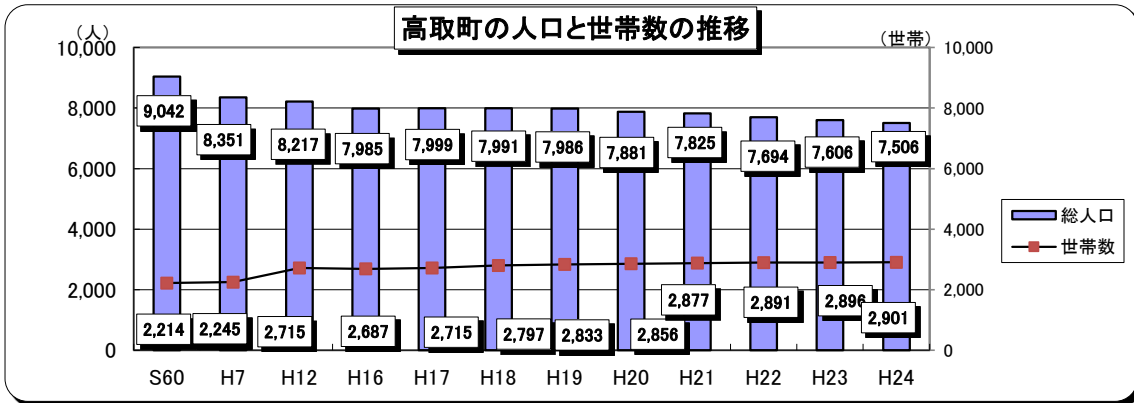


第2章 高取町の現状

1. 統計からみた現状

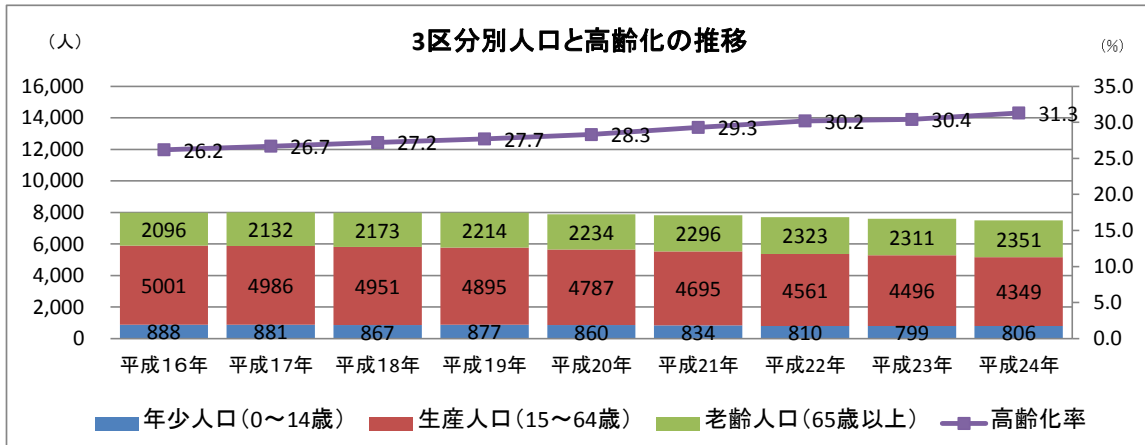
(1) 人口及び世帯

人口をみると、年々減少している。昭和60年に比べ、平成24年は約1,500人の減少となっている。世帯数は反対に緩やかではあるが、増加し続けている。これより、核家族や高齢者夫婦、独居高齢者の増加が推測できる。



資料: 住民基本台帳及び外国人登録(各年10月1日)

年少人口、生産人口^{*}は減少し、高齢人口は増加している。高齢化率は年々増加し、平成24年は31.3%と高齢者の割合が極めて高い。奈良県の平成24年の高齢化率は24.9%であり、県と比較しても高い状況にある。

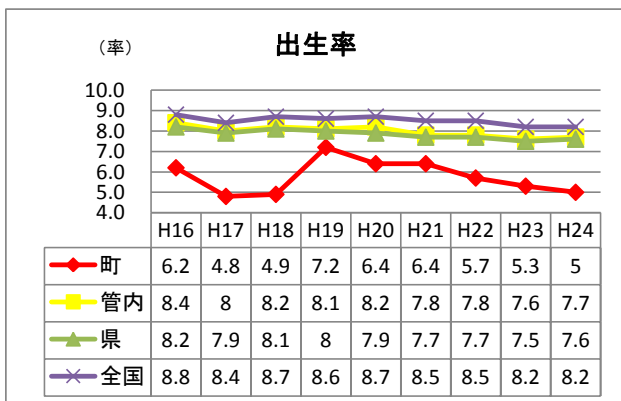


資料: 住民基本台帳及び外国人登録(各年10月1日)

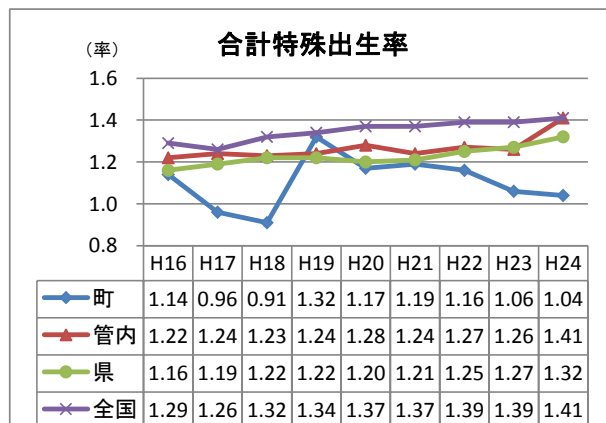
(2) 出生率

出生率^{*}は、平成19年に大きく増加するも、その後年々減少している。全国、県、管内と比較しても低い。

合計特殊出生率^{*}は平成19年に増加するが、以後減少している。平成16年以後、人口再生産に必要といわれる値「2.08」を大きく下回っている。



資料: 奈良県桜井保健所事業概要



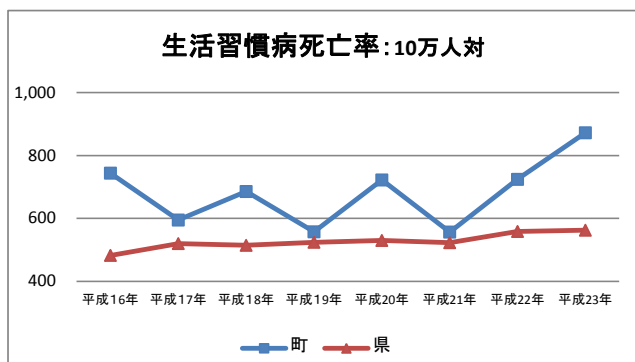
資料: 奈良県桜井保健所事業概要

(3) 死亡率

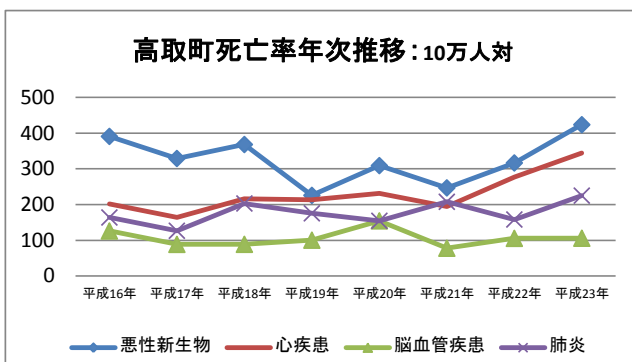
生活習慣病の死亡率^{*}は年々増加し、県と比較すると高い状況にある。

平成16年以降、がんの死亡率が1位であり、平成21年より心疾患の死亡率が増加している。

肺炎は増減がみられるが、緩やかに増加している。



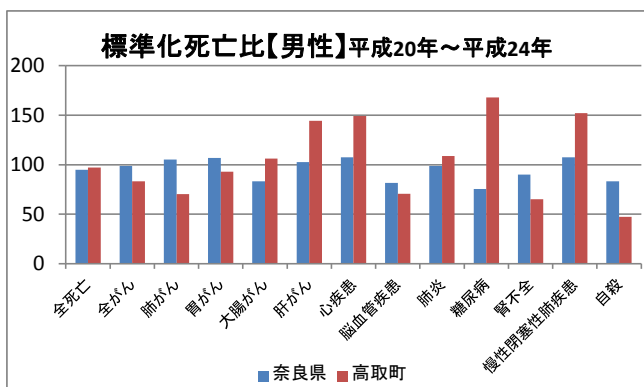
資料:奈良県桜井保健所事業概要



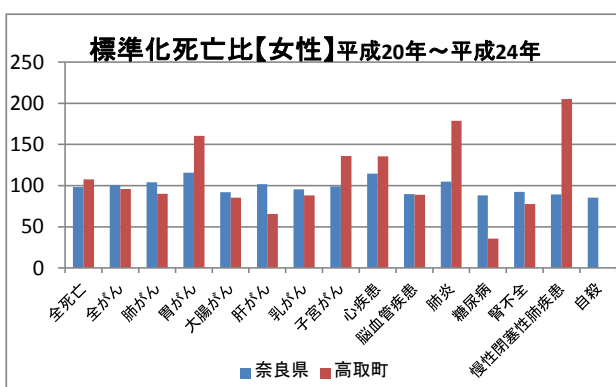
資料:奈良県桜井保健所事業概要

標準化死亡率^{*}を県と比較すると、男性は大腸がん、肝がん、心疾患、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患(COPD)^{*}が高く、特に心疾患による死亡比は、全国と比較しても高い。

女性は胃がん、子宮がん、心疾患、肺炎、慢性閉塞性肺疾患が高く、肺炎による死亡は全国と比較しても高い。



資料:奈良県桜井保健所事業概要



資料:奈良県桜井保健所事業概要

(4) 保健事業の現状

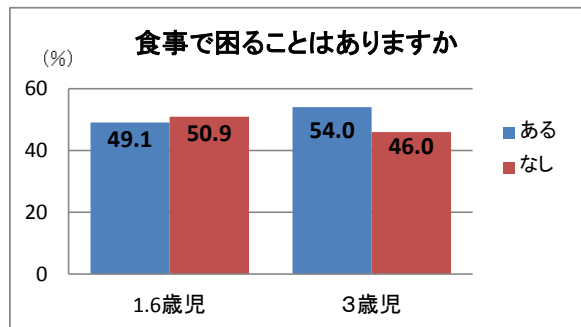
1. 栄養・食生活

【食事・おやつ】

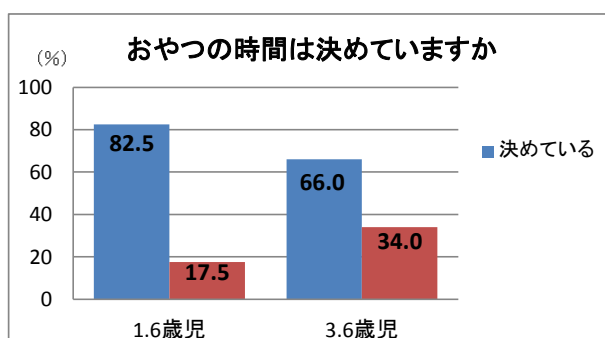
1歳6か月児、3歳6か月児の約半数が『食事で困ることがある』と答えている。

1歳6か月児では『おやつの時間を決めている』は82.5%、3歳6か月児では66.0%である。

乳幼児健康診査(1歳6か月児・3歳6か月児健診)問診票からは、1歳6か月児では、おやつに果物、ヨーグルト、ビスケット、ラムネ等を主に食べているが、3歳6か月児では、グミ、ガム、スナック菓子、チョコレート、チューイングソフトキャンディー等市販のお菓子が増えており、また食べる種類も増えている。1歳6か月児では66.0%がおやつの量を決めて与えている。

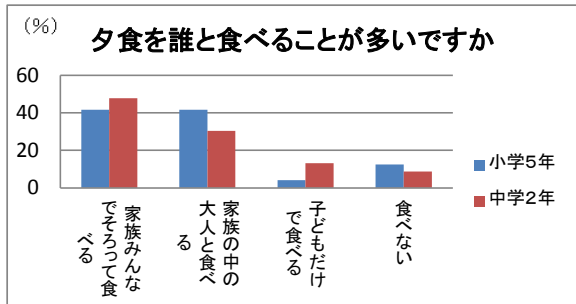


資料:乳幼児健康診査問診票(平成24年度)

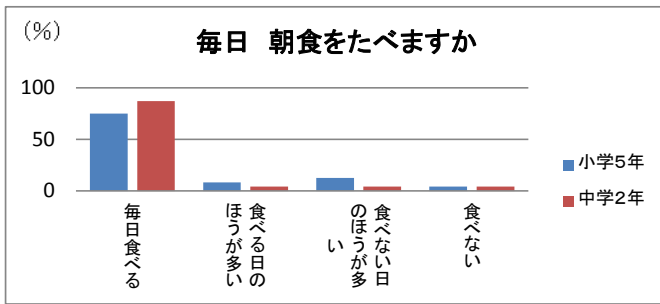


資料:乳幼児健康診査問診票(平成24年度)

小学5年生と中学2年生へのアンケートでは、『夕食を1人で食べる者』が小学生12.5%、中学生8.7%で小学生の方が高い。
『毎日朝食を食べる者』は小学生75.0%、中学生87.0%で小学生の方が低い。
『夕食後に何かを毎日食べる者』は小学生で20.8%、中学生で17.4%である。

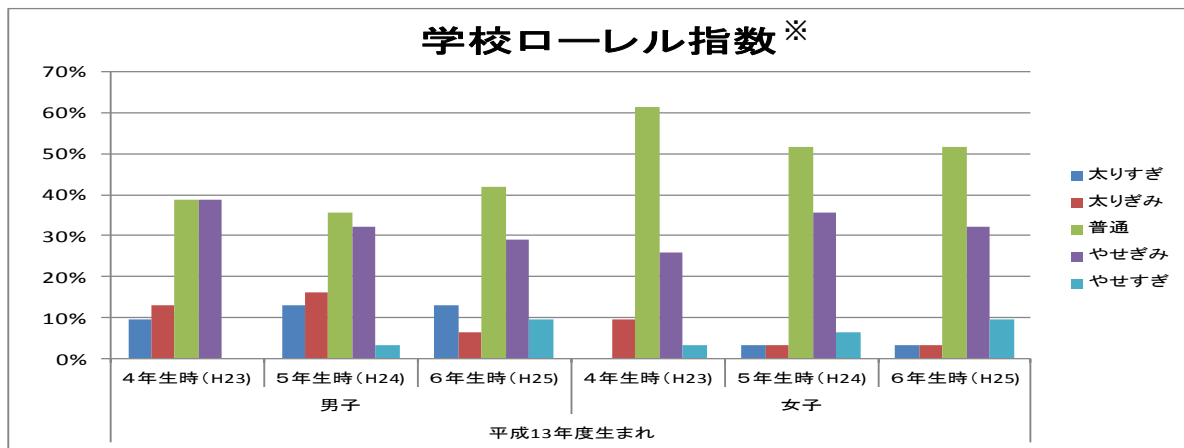


資料: 奈良県学校給食会 資料(平成25年度)



資料: 奈良県学校給食会 資料(平成25年度)

平成13年度生まれの子どもの4・5・6年生時の3年間を比較すると、女子は学年が上がると『やせぎみ』『やせすぎ』が増加し、男子は反対に学年が上がると『太りすぎ』『太りぎみ』が増加傾向にある。

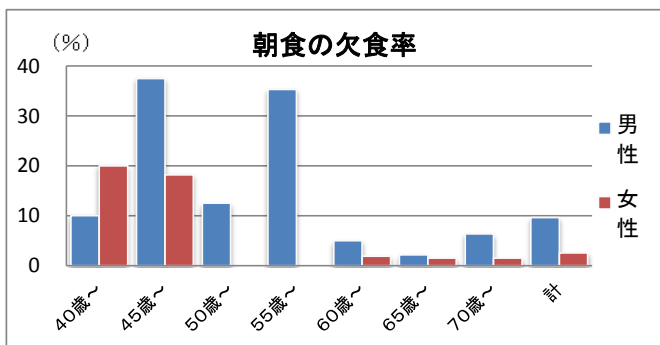


資料: 奈良県 教育委員会事務局資料

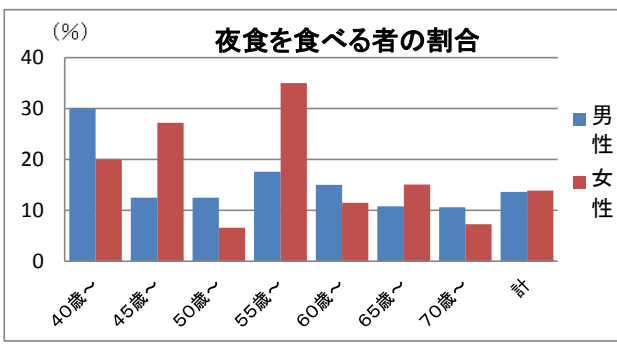
『朝食を食べない者』は、40～50歳代の男性に多い。45～50歳未満、55～60歳未満の男性の欠食は30.0%を超える。

『夜食を食べる者』は、男性は40歳代前半が多く、女性は40歳代と50歳代のそれぞれ後半に多い。

特定健診問診票の飲酒の習慣については、男性は『毎日お酒を飲む者』が40歳以上の各年齢に多く、女性は40～44歳までの者が多い。『毎日お酒1合以上飲む者』は男性は27.6%、女性2.9%である。

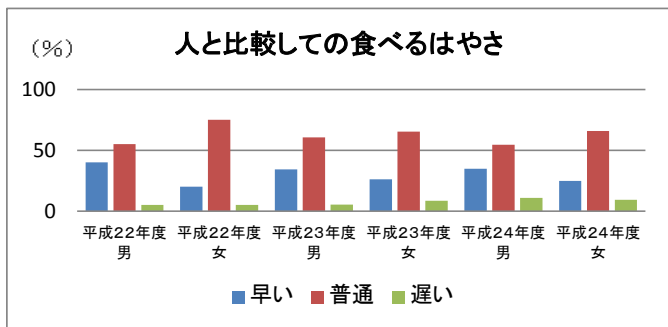


資料: 特定健康診査問診票(平成24年度)

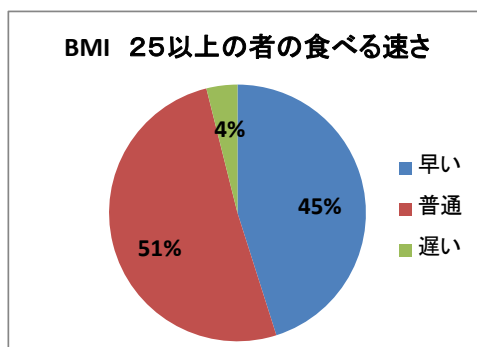


資料: 特定健康診査問診票(平成24年度)

『食事を食べるのが早い者』は男性の方が多く、BMI※25以上の者の食べる早さをみると、早く食べる者が45.0%である。



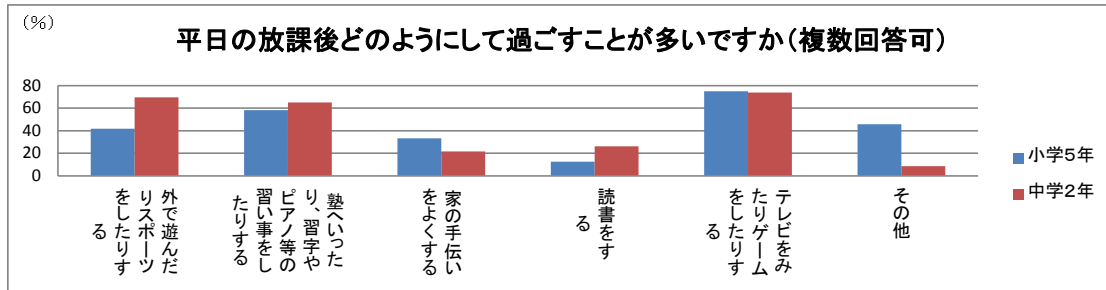
資料: 特定健康診査問診票(平成22年～24年度)



資料: 特定健康診査問診票(平成24年度)

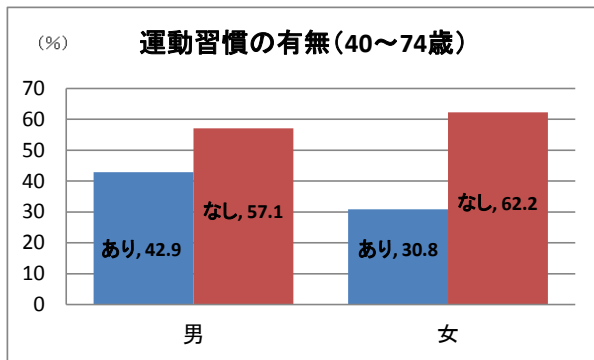
2. 身体活動と運動

小学5年生と中学2年生へのアンケートで、平日の放課後どのように過ごしているかは、『外遊びや、スポーツをしている』が小学生で41.7%、中学生で69.6%。『塾や習い事』が小学生で58.3%、中学生で65.2%と高い。

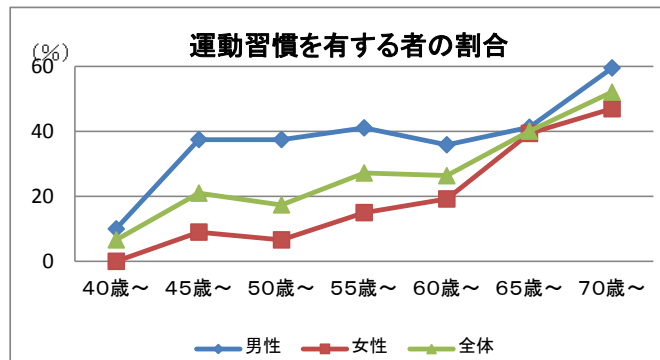


資料:奈良県学校給食会 資料(平成25年度)

平成24年度の特健診を受診した者の中では、『運動習慣がある者』の割合は男性の方が女性よりも高い。年代別にみると、年齢が上がるほど運動習慣をもつ者が多い。



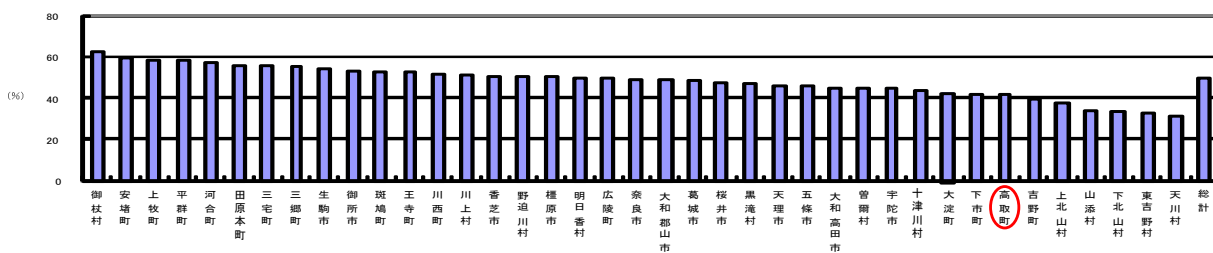
資料:特定健康診査問診票(平成24年度)



資料:特定健康診査問診票(平成24年度)

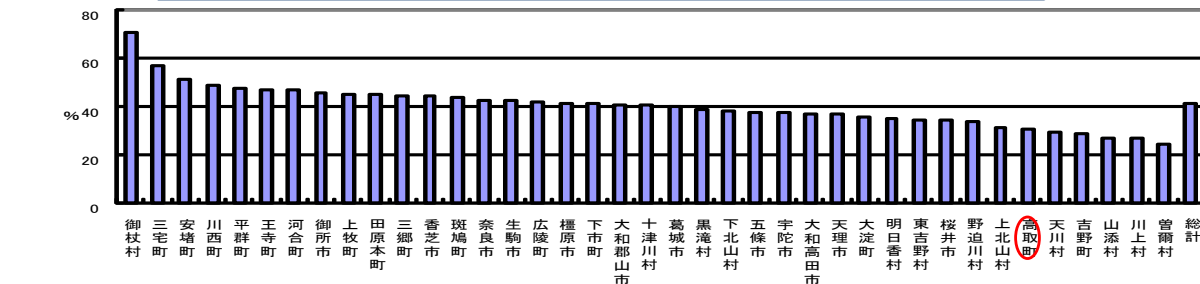
運動習慣者の割合を県内市町村で比較すると、男性ワースト7位、女性ワースト6位である。

運動習慣者割合(男性40~74歳)高い順に並べたもの。無回答除く



資料:奈良県 健康福祉部健康づくり推進課 資料(平成24年度)

運動習慣者割合(女性40~74歳)高い順に並べたもの。無回答除く

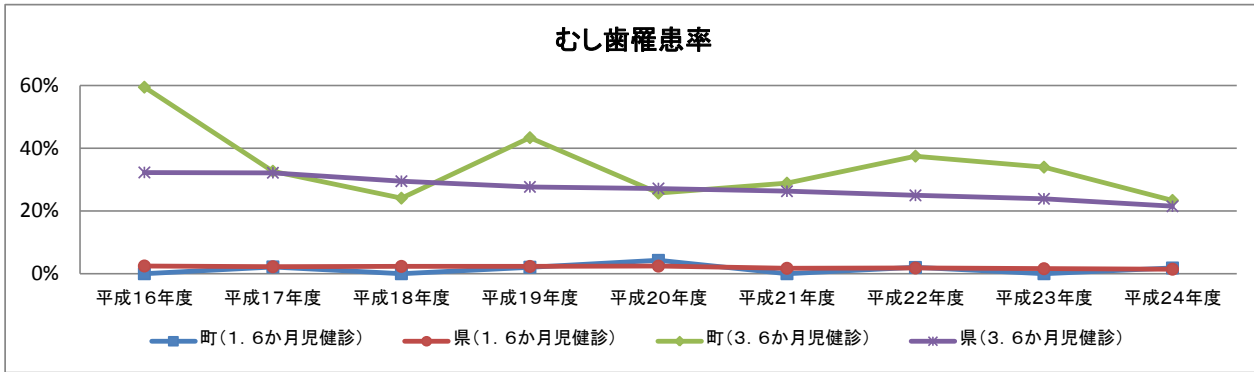


資料:奈良県 健康福祉部健康づくり推進課 資料(平成24年度)

3. 歯の健康

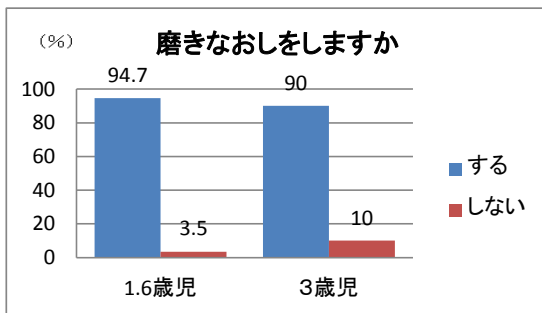
【むし歯・歯みがき習慣】

1歳6か月児では、むし歯罹患率は1.0%前後で推移。3歳6か月児は平成16年度からむし歯罹患率は減少している。

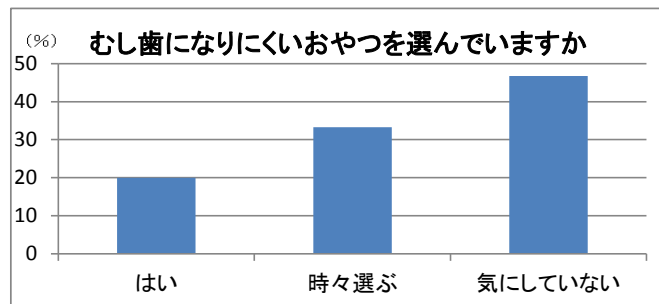


資料：乳幼児健康診査問診票

平成24年度の乳幼児健康診査(1歳6か月児・3歳6か月児)問診票では、『自分で毎日歯みがきをしている子』が80.0%以上、『保護者が仕上げ磨きを実施している子』は90.0%以上である。妊婦歯科検診やおやこの歯同伴者検診の問診票では、『子どものむし歯に関心がある』『子どものむし歯はすぐに治療にいく』と答えた者が100.0%であるにもかかわらず、『子どもにむし歯になりにくいおやつを選ぶ者』は20.0%である。



資料：乳幼児健康診査問診票（平成24年度）

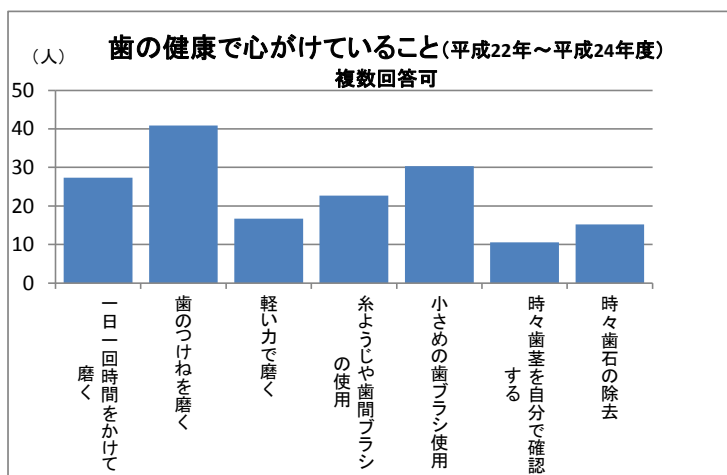


資料：おやこの歯教室 同伴者歯科検診問診票（平成24年度）

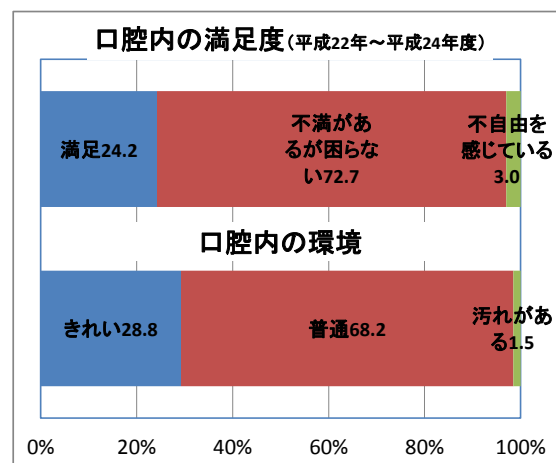
【妊婦歯科検診・おやこの歯教室同伴者歯科検診】

受診率は、妊婦歯科検診は約20.0%前後で横ばい、おやこの歯教室同伴者検診は20.0～30.0%である。

『歯みがきで何らか心がけている者』が80%以上であった。心がけていることの内容は、『付け根を磨く』『小さな歯ブラシを使用する』『時間をかけて磨く』が多い。口腔内環境は、『きれい』が28.8%、『普通』が68.2%、『汚れがある』は1.5%である。満足度については、『満足している』は24.2%、『不満があるが困らない』が72.7%、『不自由を感じる』は3.0%である。



資料：おやこの歯教室 同伴者歯科検診問診票 妊婦歯科検診問診票

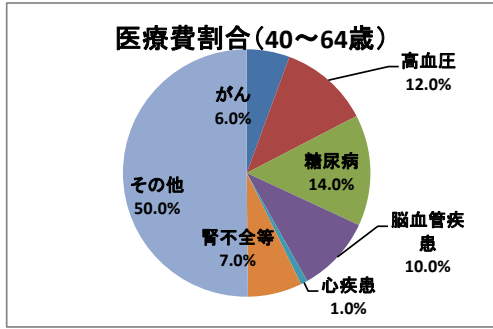


資料：おやこの歯教室 同伴者歯科検診問診票 妊婦歯科検診問診票

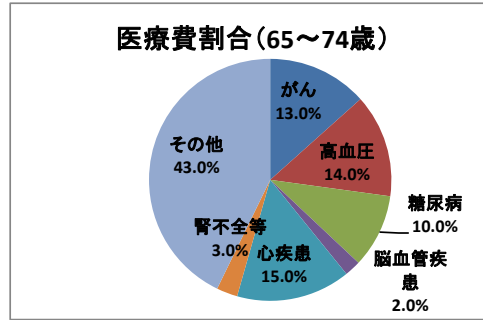
4. 生活習慣病

【医療費(平成24年6月国保診療分)】

医療費の中で生活習慣病関連の割合が、40～64歳で50.0%、65～74歳で57.0%である。



資料: 国保 医療費 (平成24年度)



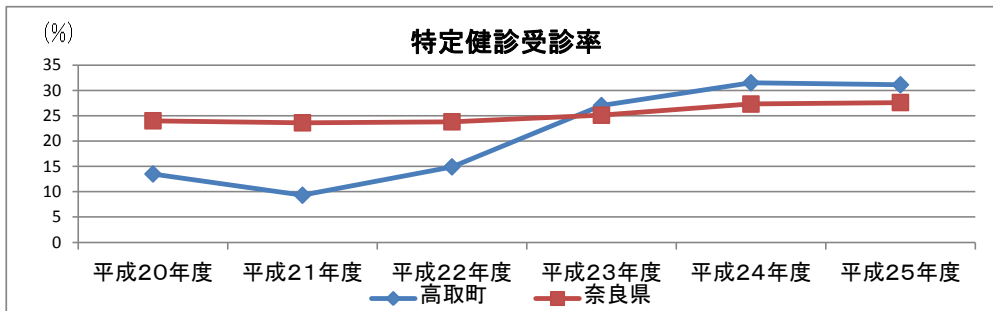
資料: 国保 医療費 (平成24年度)

【平成24年度 特定健康診査】

【特定健康診査結果 県内比較】

特定健康診査受診率は、平成20～25年度は年々増加し、平成23年度からは県平均を上回った。

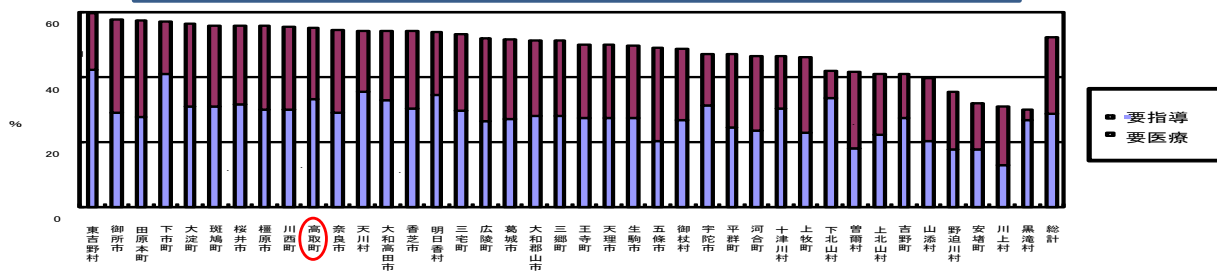
特定保健指導率は、平成20～23年度は医療機関委託で0%。平成24年度からは、町と医療機関で保健指導を実施し保健指導率は1.6%になるが低い状況である。



資料: 奈良県 国保連合会資料

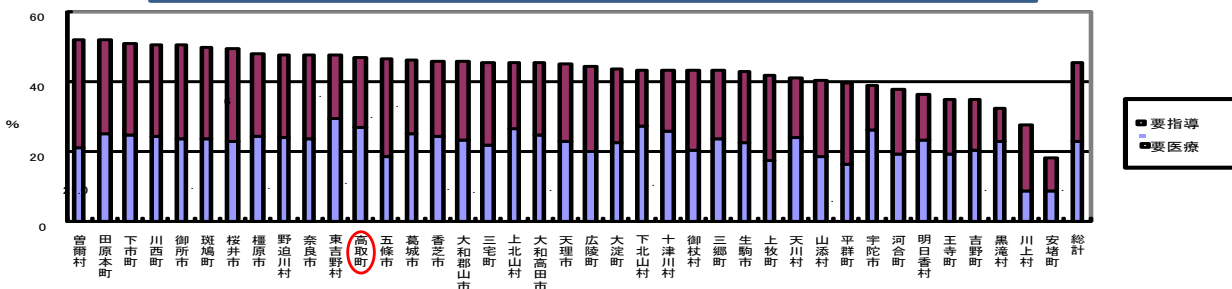
特定健康診査の結果を県内順位で比較すると、高血圧(要医療者・要指導者)は男性ワースト10位(54.8%)、女性ワースト12位(46.7%)。

高血圧要医療者+要指導者の割合(男性40～74歳)高い順に並べたもの。



資料: 奈良県 健康福祉部健康づくり推進課 資料 (平成24年度)

高血圧要医療者+要指導者の割合(女性40～74歳)高い順に並べたもの。



資料: 奈良県 健康福祉部健康づくり推進課 資料 (平成24年度)

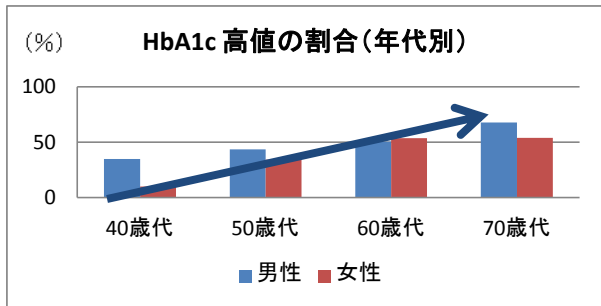
(特定健診検査結果値)

HbA1c※(ヘモグロビンA1c)は受診者の51.0%が高値であった。年代が上がるにつれ高値の割合が増加する。

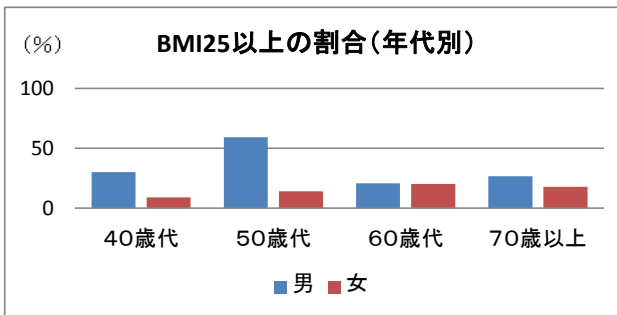
糖尿病治療者の93.0%が、HbA1c値が高い。

BMIが25.1以上の割合は、男性の40～50歳代が高い。LDLコレステロール※は男女の50～60歳代が高値である。

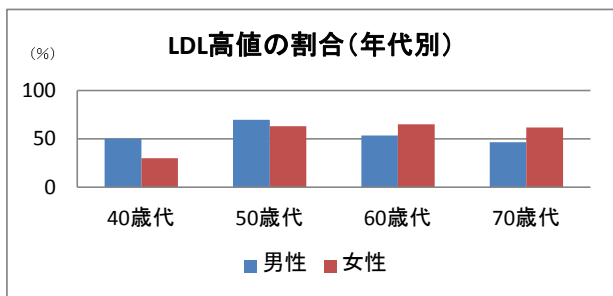
血圧は、男性の55.9%、女性は30.7%が高値である。



資料: 特定健康診査問診票(平成24年度)



資料: 特定健康診査問診票(平成24年度)



資料: 特定健康診査問診票(平成24年度)

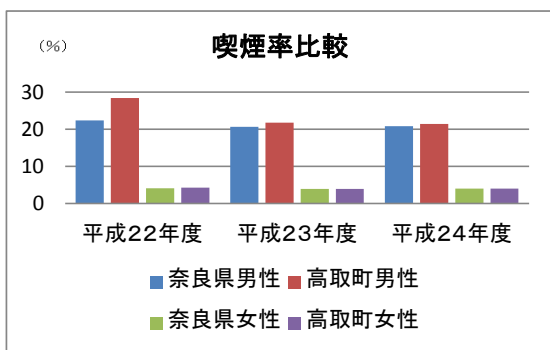
5. たばこ

【喫煙習慣】

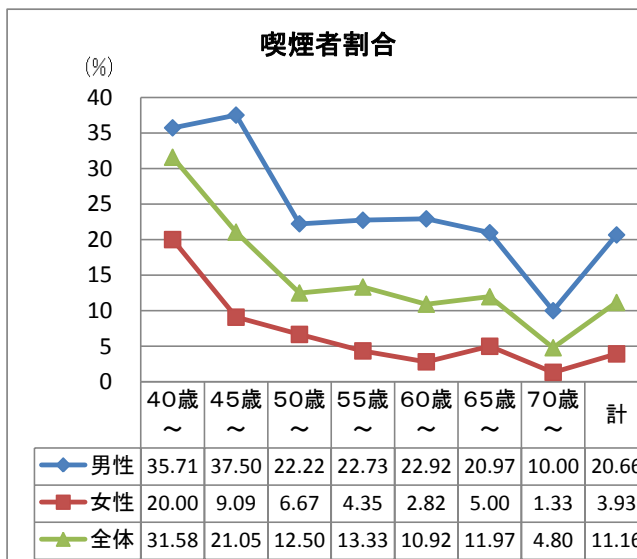
喫煙率は、年々減少傾向にある。県と比較すると、男性は県平均よりも高く、女性は同じか低い。

平成24年度の喫煙者は男性で21.4% 女性で4.0%である。年代別で見ると、男女とも40歳代の喫煙率が高い。

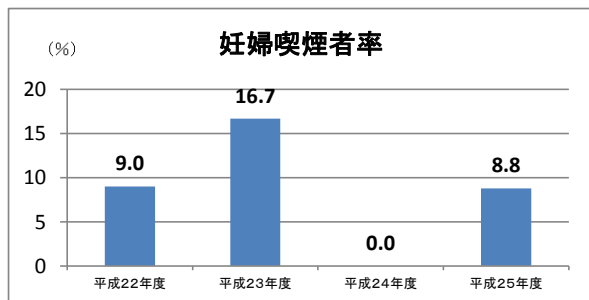
妊婦の喫煙者は、平成23年度は16.7%と高い。妊娠届数は40人前後。年間3～5人程度の妊婦喫煙者がいる。



資料: 特定健康診査問診票(平成22～平成24年度)



資料: 特定健康診査問診票(平成24年度)

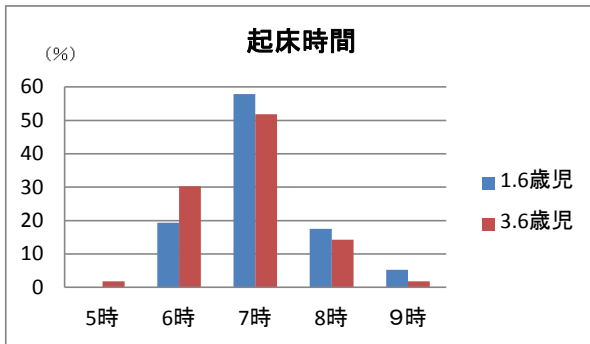


資料: 妊娠届

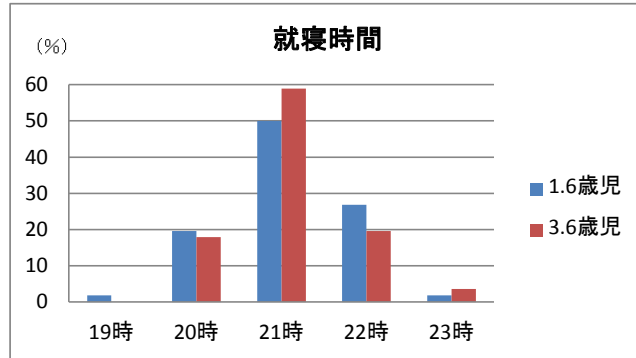
6. 休養とこころ

【起床・就寝時間】

平成24年度の乳幼児健康診査(1歳6か月児・3歳6か月児)問診票で、『22時以降に就寝する子ども』は、1歳6か月児で28.6%、3歳6か月児で23.2%である。

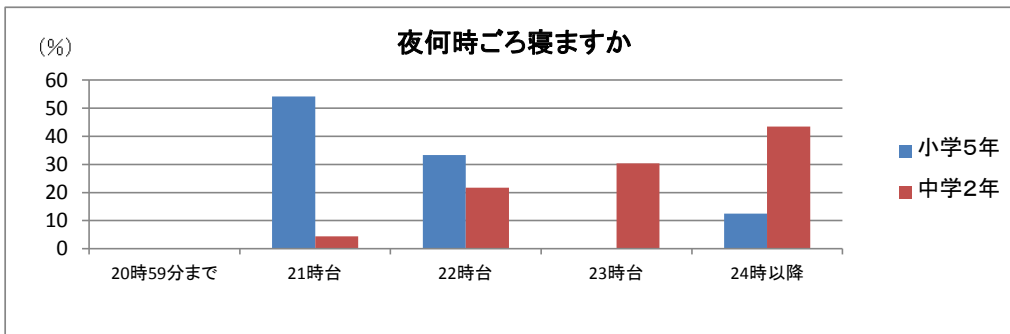


資料：乳幼児健康診査問診票（平成24年度）



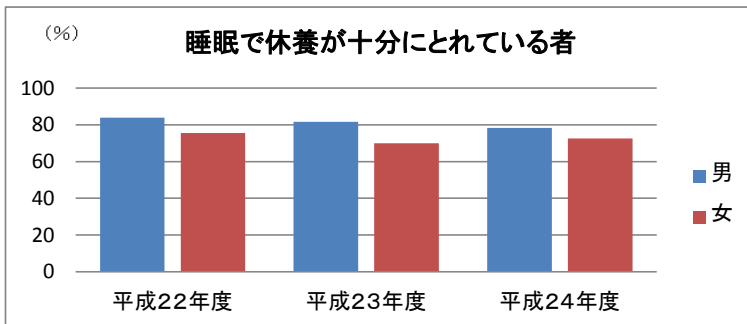
資料：乳幼児健康診査問診票（平成24年度）

平成25年度の奈良県学校給食会のアンケートで、『22時以降に就寝する子ども』は小学生で45.8%、中学生で95.6%である。うち、『24時以降に寝る子ども』は小学生で12.5%、中学生で43.5%であった。



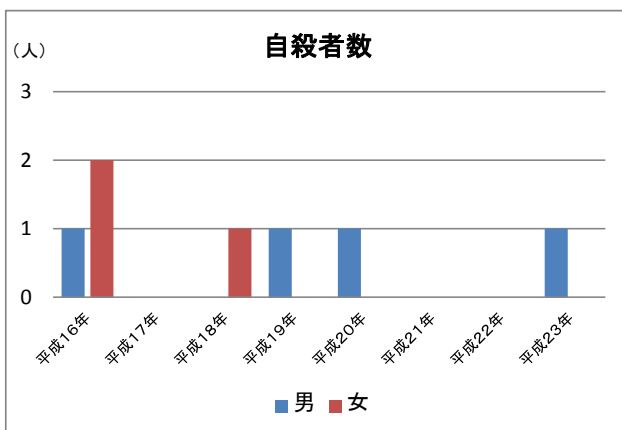
資料：奈良県学校給食会 資料(平成25年度)

睡眠で十分に休養がとれている成人の割合は、男性は年々減少している。女性は、平成23年度に減少するも平成24年度にまた増加する。男女を比較すると女性の方が男性よりもやや低い状況である。



資料：特定健康診査問診票(平成22年～平成24年度)

自殺者は、毎年0～1人で推移している。男女別にみると、男性の方が高い状況である。

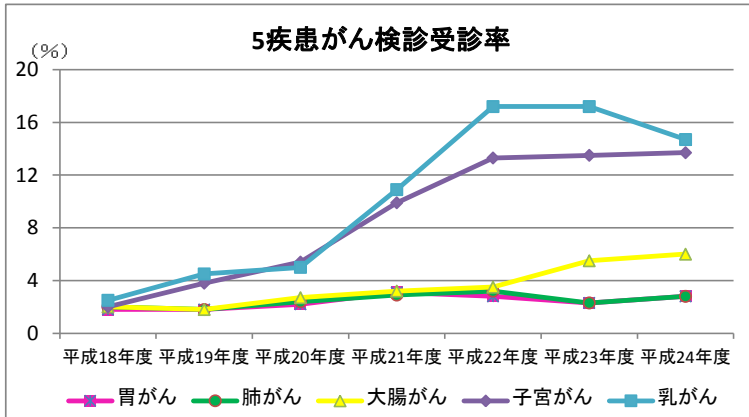


資料：奈良県桜井保健所事業概要

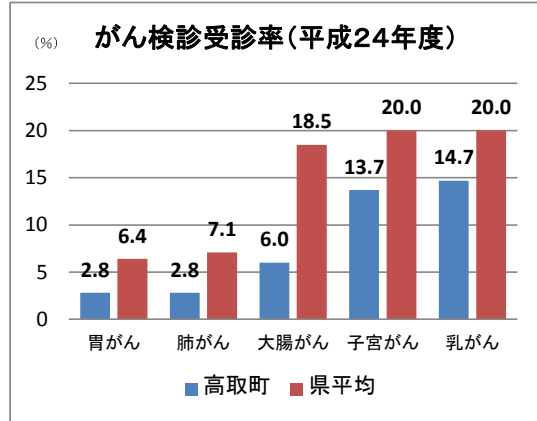
7. がん

【がん検診】

各がん検診ともに受診率は低い。県と比較しても受診率は低い。



資料：奈良県 健康福祉部健康づくり推進課 資料



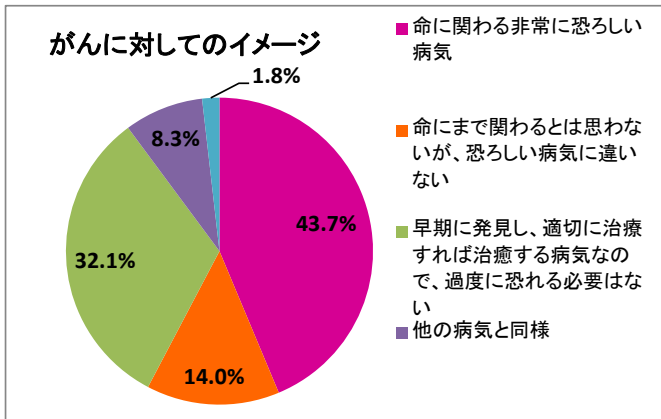
資料：奈良県 健康福祉部健康づくり推進課 資料（平成24年度）

【がん検診についてのアンケート】

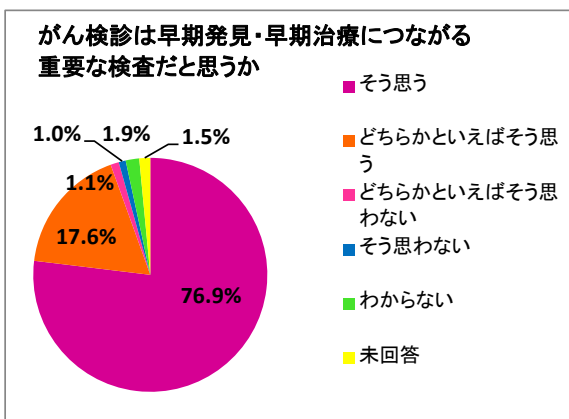
平成25年度にがん検診対象者全てにがん検診についてのアンケートを実施した。

がんのイメージでは、『命に関わる恐ろしい病気』『命まで関わると思わないが恐ろしい病気に違いない』と思うと答えた者が半数を超え、『がん検診は早期発見 早期治療に重要な検査だと思う』と答えたものは、76.9%であった。

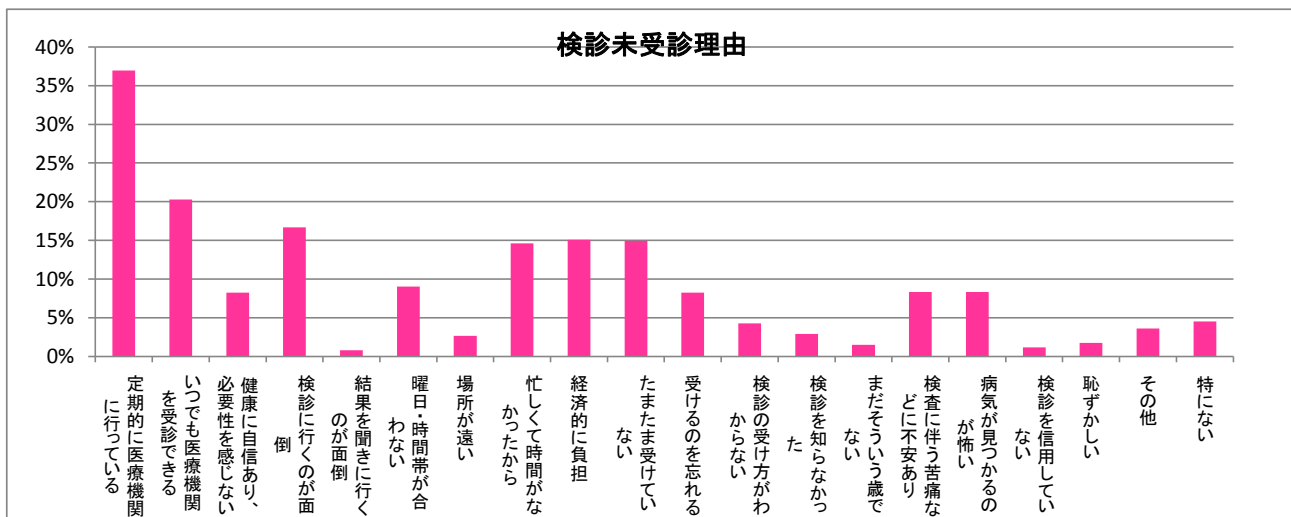
がん検診未受診理由としては、『定期的に医療機関に通っている』が最も多く、次いで『いつでも医療機関に受診できる』であった。また、『検診に行くのが面倒』『時間がない』『経済的に負担』『たまたま受けていない』と約15.0%が答えた。



資料：高取町 がん検診についてのアンケート結果(平成25年)



資料：高取町 がん検診についてのアンケート結果(平成25年)



資料：高取町 がん検診についてのアンケート結果(平成25年)